



実行委員会ニュース2026 NO8 2026.1.25発行
発行元：第58回全国保育団体合同研究集会 開催地実行委員会
神戸市中央区楠町5-2-9 兵庫県保育所運動連絡会気付
TEL:078-361-4089 FAX:078-361-4090
Mail:hyohoren@amber.plala.or.jp

兵庫合研/2026年8月22日、23日、24日

2026年 第58回全国合研を1万人の参加で成功させよう！

集会テーマ

「すべての子ども達に生きるよろこびを つながろう平和の種をまくために」

1995年1月17日、午前5時46分 阪神淡路大震災を被災しました。死者6,434人、措置児29名、保育所職員3名が死亡しました。認可保育所5か所、無認可共同保育所3か所が全壊しました。一部損壊を入れると保育所は無数の被災を受けました。途方にくれた私たちを全国のなかまが、はげまし支援してくれました。そのおかげで、普及・復興ができました。

2001年、震災から復興した姿をみてもらおうと、第33回全国合研を兵庫で開催し、9,670名の参加で成功させました。

児童福祉法の改正で、公的保育制度を解体して、利用制度に変えようとする、動きの中で、2012年 第44回全国合研を兵庫で開催しました。この取り組みは、「児童福祉法24条」を守れるかどうかの全国的な運動の中での取り組みでした。運動で24条1項が残ったことを、集会参加者全員で喜びあいました。

全国保育団体合同研究集会は1969年、日米安保条約提携を前に、平和を願った全国の保育士が、長野に集まったのが始まりです。当時の実行委員長の浦辺史先生は、「**子どもは未来をつくる主人公です。この集会を国民的保育運動の夜明けに**」と呼びかけられました。以後、先輩達から私たちへとつなげてきました。

現在の社会状況は、軍事費の異常な増額、物価高騰、30年も上がらない賃金、気候危機などあらゆる場面で、資本主義社会の矛盾が噴き出し、広がる格差と貧困、止まらない少子化等、社会不安は増大する一方です。保育では、こども誰でも通園制度が全国で始まる年です。

社会のいろんな場面で、儲かるか儲からないかという市場原理が広がり、保育も巻き込まれていこうとしています。このような社会情勢の中、平和が危ない、子どもたちは、いじめ・不登校、SNSなど、バラバラにされた人間関係の中で人と人がつながる事が 難しい時代に育っています。

2026年第58回全国合研を兵庫で開催することを決め実行委員会を立ち上げました。私たちは、平和で安心できる社会の中でこそ、命を大切にし自分らしさを育み、花開させることが出来ると願って、集会テーマを決めました。記念講演には、沖縄でドキュメンタリー映画を撮り、平和を訴えておられる映画監督の「三上智恵さん」に決まりました。開催地企画として、「非核神戸方式」を作り、守ってきた歴史に光をあてた企画を進行中です。

実行委員の皆さま、合研成功に向けて、忙しい日々ですが、智恵と力を併せ、お互いに声をかけあい共に成功させましょう！



近畿ブロック交流会



兵庫合研成功を目指して、近畿の代表者が集まり状況交流をしました。

大阪 『とにかく兵庫に行こう！』を合言葉に参加人数目標を1000人から1500人に引き上げ、次の大阪開催に繋げていく意気込みをいただきました。頼もしいです！

奈良 群馬合研に現地参加した若い先生から感動したとの報告を受け、その声を確かなものにしていきたい。

滋賀 秋の署名の際、30年疎遠になっていた園とまた、繋がる事ができたそうです。諦めずに声掛け続ける事の大切さを実感。世代交代で合研を知らない園長先生が増えたので丁寧に関わりを広げていきたい。

和歌山 合研で近畿はひとつに！を胸にがんばりたい。zoomもいいが、対面にこだわり参加呼びかけをしていく。

京都 保護者会からも参加。市内58ヶ所の保護者会が組織されている。保護者の声を集めて保育士さんと一緒に参加を呼びかけます！とのことでした。

学童 せっかく近場で開催されるので学童保育と合研をむすび付けるため、学童の分科会の予定しているそうです。成功させたい！

地域によって、組織によって、いろんな壁や迷いもあるけれど合研をきっかけに、仲間作りや組織拡大に繋がりたい思いは、皆同じだと感じました。うまくいかない事もあるかもしれないけれど、それすらもエネルギーにして、駆け抜けて行こうとする代表者の方々の腹ぐくりが垣間見えた交流会でした。

近畿ブロックだけでなく、組織担当役員が全国に電話をかけ、参加目標の積み上げをお願いしています。

合研Tシャツ 2026



イラストは、ささめやゆき さん！

〈サイズ・価格〉			おとな					こども		
	肩幅	身幅	着丈	価格			肩幅	身幅	着丈	価格
S	39	48	62	白 ￥2,200 色 ￥2,300		100	29.5	33.5	44	白 ￥1,900 色 ￥2,000
M	45	52	68			110	31.0	35.5	47	
L	48	55	71			120	32.5	37.5	50	
LL	50	60	71			130	34.0	39.5	53	

【生地色】ピンクグレー・白 【プリント色】紫芋色

阪神・淡路大震災から31年

～兵庫県保育所運動連絡会では～

当時、兵保連は全国の励ましを受けて「保育・子育て支援センター」を開設し、児童福祉法の基本理念に基づいて活動しました。それは、すべての子どもたちを視野に入れた活動でした。そのためには、予算の確保・認可保育施設の増設が必要でした。保育所が生きていく希望として地域の中に存在している事が本来の福祉のあり方ではないかと考えています。

兵庫合研では、当時保育所年長児（神戸市長田区で被災）だった実行委員のメンバーがいます。小学校入学を目前にたくさん子どもたち・保護者が不安だったと思います。そんな仲間からも話を聞きながら、力を合わせて合研に取り組みたいです！



地域からの報告

神戸

毎月第3火曜日に実行委員会を開催しています。

1月は震災企画として、兵保連会長・増田百代氏から「阪神・淡路大震災31年 被災を乗り越えて」と題して、当時の写真を見ながらお話を聞きました。また、実行委員会では物品販売もし、資金作りをしています。インスタもできました。

プレ合研も1月31日「保護者交流会」
2月21日「音楽で遊ぼう」を企画しています。

尼崎

兵庫合研プレ集会を企画し、11月28日に実施しました。目標の150名を超えて156名の参加があり、ワークショップでもちゃ作りをしたり、「気になる子の支援」「子どものための性のはなし」「給食と保育」それぞれの講座で多くの方と交流し合うことができました。

市の職員の方や未組織の保育施設の方の参加にも繋がり、合研を知ってもらうきっかけになりました。おもちゃ販売やひょ一坊グッズ販売など資金作りもすすめています。

4月26日には尼保連と合同でプレ企画第2弾を開催予定です。

姫路

1月の実行委員会では、合研を広げていくにはどうしたらいいか、の話し合いをしました。施設訪問や知人への声かけだけでなく、図書館や自営をされている保護者の方のお店などに、チラシを置かせてもらうのもいいのではないかとのお話が出ました。

5月10日（日）は二本松はじめさんプレ企画です。

財政作りは子どもたちに手に取ってもらえるようなヘアクリップやキーホルダー作りを検討中です。



東播

2月6日に東播地区の県・地域合同実行委員会を開催予定。各担当に分かれ、県と地域の連携を深め、活動の具体化を図り、後6カ月に弾みを付けていきます。

11月のキャラバンでは、直接会ってお話出来なかった所もたくさんありましたが、合研の輪を広げていく余地がまだまだたくさんあるということで、アクティブに取り組んで行こうと思っています。



今後の予定

- 第5回実行委員会 4月19日（日）13時30分～ 場所未定 **”平松知子先生来たる！”**
- 2月18日（水）14時～ ワールド記念ホール下見
- 5月は、二本松はじめさん 県内ツアーを予定しています。



各部会の報告

組織

職場内の正規職員への声かけが一定固まったところで、今度はパート・非正規職員・保護者にアタックしようといろんな企画を考え中！また、具体的な資金作りの計画を立てている園もあります。プレ集会を成功させた、神戸や尼崎の経験を聞かせてもらいました。組織外の参加もあり「集まって元気がでた！」「次の一步につながった」「この輪を広げていきたい」という感想に力をもらいました。

他の地域実行委員会も次々にプレ集会を企画し、その成功に向けて取り組んでいます。職場実行委員会が立ち上がっている園の具体的な話も聞き参考になりました。2月は県下自治体へ後援依頼に行き、つながりの輪を大きくしていきたいと思います。



ちいなか

12月に兵保連事務所で「ひょ一坊作り」をしました。

「HYOGO」[2026]の刺繍は記念に入りたいねなど、ワイワイ話しながら、楽しい時間になりました。

1月29日（木）には部会を対面で行います。2月28日（土）のちいなか学習会～「子どもとスマホ」（長瀬美子先生オンライン）～を計画します。

子どもとスマホの現状、大事な乳幼児期の育ちを守るためにスマホとの付き合い方等、保育士と保護者が一緒に考える機会になれば良いなと思います。ぜひ、サテライト会場を計画しましょう。

企画

子どもたちが主人公！合研の幕開けのオープニング企画は子どもたちの歌に決定！

①世界中の子どもたちが ②ぼくら太陽の子（サビは手話を入れます） ③手のひらを太陽に

この3曲に込められた作者の願いは、どれも生きる喜びと命の尊さ、仲間の大切さです。

①すべての子どもが一緒に笑ったり泣いたり、ありのままでいられる平和な世界を ②太陽のように輝きながら仲間と生きる子どもたちの希望と喜び ③小さい命の尊さ、“生きている”ということの喜び。そして“生きていく”ことへの希望。

合研のテーマに込められているこの3曲を子どもたちが歌い「合研、始まるよ～！」の子どもたちの声で合研の幕開けにしたいと思います。

アンケート105人より回答がありました。ありがとうございました。

財政

ひょ一坊Tシャツを地域での取り組みが進んでいます。合研マスコットとして、どんどん人気が上がっています。合研を広めながら財政活動につながってほしいです。次は、タオル販売の準備を始めました。次の自治体キャラバンの財源はできました！キャラバンよろしく願います！

広報

兵庫合研を全国宣伝するべく動画作成に取り掛かっています。SNSのみならず各地域、保育園の集まりごとに宣伝として活用してください！合わせてポスターも作成していきますので限界突破！とにかく宣伝！していきましょう！

宝塚

2回の実行委員会を経て、合研とは何か？ということや宝塚市の保育運動の中心となって目指していきたいこと、保育・子育て環境をよりよくしていきたいことを再確認！キャラバンでは、全体的な保育士不足を改めて感じ、そんな中で合研に繋がっていくためには...と悩み中ですが、とてもかわいいひょうぼうTシャツが届いたので、みんなで着て保護者の方々にも合研の宣伝をしていきたいと考えています！

芦屋

兵庫合研に向けて、公私一緒に1月に集まり、2月26日に実行委員会発足を決めました。職員の中でも合研を知っている人と知らない人がいるので、まず合研について周知を図り、芦屋市全体へと活動の輪を広げていきます。

川西

公立と民間の保護者同士のつながりを作りたい思いで企画した「就学前座談会」は、実行委員以外で16家庭の参加がありました！就学に関する不安を語り、共有し、顔見知りになり繋がることができました！手ごたえを感じられた企画になりました。

西宮

実行委員会を1月22日に行いました。プレ集会を1月26日に開催します。子どもの姿勢や発達について学びますが、保育士だけでなく保護者にも広げていきたいと思います。小規模園へのキャラバンも進めています。新人保育士がドキドキしながら保育園を訪問し、聞いてもらえた喜びを味わっています！

赤穂

あおぞら保育園では、実行委員を3名選出し全職員で話し合いをしています。実行委員会を12月に行い、県実行委員会の内容、意義について共有しました。

プレ合研については、各クラスでまとめた意見を出し合いました。ワークショップや講座の意見が出される中、保護者も職員も子どもと一緒に楽しめる企画、親子で学びながら楽しめる企画、講師は赤穂の知人や元保護者に声をかけ、地域の方も参加できるよう企画・宣伝をしていきます。